

セルフモニタリング報告書（令和7年度分）

令和 8 年 4 月 1 日

施設名：沼ノ端交流センター（北栄児童センター・交流センター）

指定管理者名：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

所管課名：こども未来部 こども若者支援課

モニタリング項目	指定管理者コメント	自己評価				
1 事業計画の達成度						
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	事業計画はほぼ計画通りの実施運営を行うことができました。北栄は時期や内容を変更したものもありましたが、他館との交流やポッチャ・筒けんなど、北栄では初となる試みを取り入れ、全体的には計画水準以上の実施運営ができました。未実施だった計画も前向きな反省とすることができ、次年度はさらに充実した企画・運営ができると考えています。	A	B	C	D	E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	沼ノ端交流センター貸館の累計利用者数は前年度比23.7%伸長の3万9千人、図書コーナーの累計貸出利用者数5.9%伸長の1万3百人、夜間勉強室の累計利用者数は9.8%伸長の6千1百人となり、前年度から大きく利用者数を増やすことができました。児童センター利用者については前年度比0.2%の微増で5万9千人となり、地域の子どもたちの憩いの場となっています。	A	B	C	D	E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。		-	-	-	-	-
自主事業は計画どおり行われたか。	当初計画のレッドイーグルス選手と地元ファンが交流できるイベントについては、日程調整等がつかず残念ながら断念しました。しかし、計画にはなかったものの、医療職体験イベントや第一生命との協力の下、健康に関するイベントを3回実施することができ、多くの利用者に健康意識を高める取り組み等ができました。センターでは児童の実態に合わせて内容や回数を膨らませ、計画以上に実施しました。パステルコンテストではお迎えの保護者様などが投票できるように掲示し、多くの方々に楽しんでいただきました。	A	B	C	D	E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	北栄町内会館の一面として、各種委員会等でミーティングルームをご利用いただきました。また、地域イベントの沼フェスへの協賛等、地域に根ざした活動を地道に実行してきました。トピリカフェスティバルではボランティア団体から女子高生1名を受け入れました。地域の方より手作り作品を定期的に提供があり、管理室横に展示し来館者の目を楽しませていただいています。児童センターではボランティアとの連携により絵本の広場やお話の広場には児童・幼児ともに喜んで参加してくれています。また、周辺施設とも連携を試み、今年度はイベントポスターを貼ってもらうことで来館の契機になったこともありました。	A	B	C	D	E

2. 利用者の満足度						
利用者の満足が得られているか。	利用者アンケートでは、全ての項目で高い評価をいただけたと思います。改善希望コメント等については、いただいた貴重な意見に真摯に向き合い、できるものは速やかに改善を行ったところであり、今後の施設運営の参考にさせていただいています。	A	B	C	D	E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	利用者の意見・要望は、各施設コーナーの受付カウンター前にご意見箱を設置し、各担当者が日々確認し館長に報告し対応しています。また、年2回のアンケート実施による意見の把握を行い、都度対応を行っています。	A	B	C	D	E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	利用者からの意見・要望・苦情は即座に対応し、その後、こども若者支援課担当者に報告し、事故等重大案件は職員全員が周知できるようにしています。いただいたご意見についてはその後の対応とともに館内に掲示し、誰の目にもわかりやすいようにしています。	A	B	C	D	E
3 管理運営の効率性						
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	昨年度に引き続き電気・ガスの使用に伴う無駄を洗い出し、各セクションと協議をしながら削減に努めてきましたが、夏場の猛暑及び冬季間の気温の低下、施設利用者の増加等により光熱費については昨年実績を下回ることはできませんでした。	A	B	C	D	E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	清掃・外観管理・駐車場除雪等を第三者委託しており、計画通りの経費で運営できています。消耗品等は必要最低限のものとして、日々の経費の低減を図っています。	A	B	C	D	E
収入増加のための取組はされているか。	新規利用者のリピートもあり会議需要等が増え、前年度比111.2%増の貸館収入となりました。必要備品の貸し出しや部屋の事前準備など、利用者に快適に利用していただけるような工夫を行っています。また、来館者を増やす取り組みとしてInstagramの投稿を増やし、フォロワー数は今年度100名ほど増加したところです。	A	B	C	D	E
4 適正な管理運営						
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	職員の能力向上では、弊社社会事業サービス本部作成のトレーニングコンテンツを活用しての職員研修を実施するほか、職員全員に向けた個人情報取り扱いについてのテキストの読み合わせ及び筆記試験を実施しました。また、緊急時対応としてAED研修を実施しました。児童センター職員に対しては日々の打合せ等でテキストなどを利用しながらいじめ対策やアレルギーの認識などの研修を行ってきました。火災避難訓練については、年2回実施しています。	A	B	C	D	E

安全対策（事故防止等）は十分だったか。	万が一事故が起きた時の対応や対処方法を全職員に周知しています。貸館や図書については定期的に職員巡回を実施しています。事故発生の危険が高い児童センター遊戯室においては、小学生来館時は必ず2名以上の職員を配置し、見守り及び指導を行うことで、事故防止に努めています。	A	B	C	D	E
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	管理室・図書室は館長がシフトを作成し、営業所所長が再検証を行い、利用者にご不便をおかけしないよう人員配置しています。児童センター・クラブの配置はセンター長を中心に配置確認表にて適切な配置を実施し、エリアマネージャーが再検証を行っています。	適			不適	
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	当館は北栄町内会の町内会館も兼ねており、町内会の会合・打合せの使用時は減免対応となるため、年間スケジュールを提出いただき管理しています。また、苫小牧市学校適応指導教室としてトピリカ学級を開設しており、こちらも年間スケジュールを教育委員会に提出いただき管理しています。	適			不適	
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	弊社では、全職員に対し入社時に研修を行うとともに、毎年全職員を対象に個人情報理解度チェックとしてテキストの読み合わせ後、テストを実施しています。個人情報などの書類は、鍵の掛かるキャビネットに保管し管理を徹底しています。また、会社全体ではプライバシーマークを取得しており、利用者の個人情報等については適切に管理しています。	適			不適	
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	利用者からの施設利用料については交流センター内管理室で受け取り後、館長の確認・銀行入金処理を行い、営業所長が最終確認しています。多くの職員が管理に携わることで、不適切な会計処理が起きないように努めています。	適			不適	
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	法令点検及び定期点検は仕様書を基に、第三者外部委託業者に依頼し、全て適切に実行しています。点検修理時には、館長が立ち合い、全て細かく説明を受けながら適切な内容で修理保全に努めています。	適			不適	
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	個人情報記載の書類は全て鍵の掛かるキャビネットにて保管し、その他書類も館長・児童センター長の管理の下、適切に管理しています。備品などについては定期的に見直しを行い、不必要なものは処分し、安全性に問題のある備品があれば随時入れ替えを行っています。	適			不適	
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	全社共通の就業規則を基に、コンプライアンスを重視した管理・運営を行っています。万が一コンプライアンス違反があった場合に備え、本社にコンプライアンス相談窓口を設け、職員ロッカーなど目立つ場所に相談ダイヤルを掲示し、いつでも相談できる体制になっています。	適			不適	

5 地域貢献						
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	雇用に関しては全職員が苫小牧市在住で、多くの職員が地元出身者です。資材調達や再委託もできるだけ地元業者を中心に行っています。近隣公共施設との連携、沼フェスへの協賛参加など地域交流、地域貢献を意識しながら運営しています。	A	B	C	D	E

A：目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。

B：目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。

C：概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。

D：目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。

E：目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

総合評価



【★の数が5～0の6段階評価で評価しています。】

〈 4 適正な管理運営において不適がある場合、その理由と今後の対応について 〉

指定管理者の自己評価（全体を通して）

沼ノ端交流センター貸館の累計利用者数は前年度比23.7%増の3万9千人、図書コーナーの累計貸出利用者数5.9%増の1万3百人、夜間勉強室の累計利用者数は9.8%増の6千1百人となり、前年度から大きく利用者数を増やすことができました。児童センター利用者については前年度比0.2%の微増で5万9千人となり、地域の子どもたちの憩いの場となっていると実感しています。

利用者に気持ちよく施設をご利用いただけるよう、施設周辺の清掃、除草、落ち葉拾い、除雪等の実施に努め、利用者及び近隣の方々から評価をいただいています。特に、本年2月の衆議院選挙期日前投票期間中は、投票者の安全な歩行確保のため、除雪や凍結路面への融雪剤散布などを重点的に実施してきました。

全館イベントのトピリカフェスティバルでは、ステージ発表106名、参加人数667名と、前年度比120.6%増のイベントとなり、次年度もまだ利用者を増やせる手ごたえを感じることができました。

今年度は北栄児童センターにとって初めての取り組みや新しいイベントを実施することで、施設の特徴を最大限に活かし、さらなる利用者満足度を得るために活動してきました。寄せられたご意見・ご要望には可能な限り回答を逐次掲示することで、利用者の視線を運営に役立てるようにしたり、遊戯室利用の仕方を一部変更して全面利用で好きなスポーツを楽しむことができるようにしました。イベントでは他館との交流や筒けん教室・ポッチャ大会などを実施し、児童は今までにない体験をし、継続を求める声を多く聞くことができました。また、全国展開の強みを活かし、他部署の食品管理のノウハウを児童センターに取り入れ、児童が直接調理するクッキング行事を行うこともできました。参加児童の喜びはもちろん、このことが他の児童センターにも伝わったことで可能性を示すことができ、今後への大きな契機となりました。

以前より継続させていただいているトピリカ学級などの事業も関係各所のご協力もあり、継続して行うことができ、他にも図書コーナー蔵書の増加、勉強室の快適な利用、児童センターでも多々のイベントを行い、老若男女問わず幅広い世代交流を意識した施策を行い、一つ一つ着実に地域に根差した施設運営を目指しているところです。

これも、こども未来部こども若者支援課の皆様をはじめ、多くの方々に指導をいただいた賜物であり、今後も全国企業としてのノウハウを活かした取り組みや地域に根差した活動を行うとともに、児童センターを持つ複合施設として幅広い年齢層で交流できる施策を模索しながら運営していきたいと考えています。今後ともこども未来部こども若者支援課の皆様をはじめ、苫小牧市役所の皆様のお力添えを、何卒よろしくお願いいたします。